

文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和2年1月20日

出席者	参加者	6人	
	議会側	【文教厚生委員】 北林委員長、坂元副委員長、牛尾委員、岩崎委員、大道委員、谷委員、石原委員 【委員外】 乗越議長、片山議員、加根議員	
開催日時		令和元年11月13日（水） 18:00～19:30	
開催場所		黒瀬保健福祉センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	6月・9月定例会の議案について
		概要	議会の概要説明の後、6月・9月定例会の議案の中から、次の事業説明を行った。 ・情報教育用の無線ローカルエリアネットワーク ・東広島市有害獣処理加工施設の管理を行う指定管理者の指定について ・道の駅整備事業（仮称）道の駅西条地域連携施設等設計施工一括工事について ・高機能消防指令センター整備事業について また、東広島圏域における民間企業等による管理型最終処分場建設の自粛を求める請願について、市民経済委員会での意見聴取や討議の経緯を説明した。
		質疑応答	時間を設けていない
	意見交換		
		【相手方意見】 ①民生委員・児童委員の活動環境について 平成29年6月2日 民生委員・児童委員の活動環境の改善に関する決議について現在の状況（取り組んだこと）を検証してほしい。現場では、決議の内容がみえない。民生委員に情報が下りてこないため、もっと情報開示をしてもらいたい。 ②避難要支援者への対応 避難行動における、避難の要支援者についての対応を考えてもらいたい。助けに行く人に報償費を出している市町はたくさんある。自治協の人間も自分の身が可愛いから、電話するのが精いっぱい。現在は確認に行き、会えたかどうかの状況報告まで義務付けられている。ある程度犠牲を払ってでもいかなければならない。	

		③特殊詐欺 自治協の区長さんに補助金を出してでもいいから、チラシで徹底的に説明をする方法を考えてみてはどうか。区長が一人一人に対して回ってもらう選択肢はどうか。 ④生涯学習フェスティバル 健康福祉まつりと一緒にやったほうがいい。また、会場がせまいのと、車で来られない。運動公園のほうがいいという人も結構いる。 【議会側意見】 ご意見を受け止めさせていただき、案件に応じた対応について、様々なやり方を考えていく。
	要望・提言等	
	その他 特記事項	

文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和2年1月20日

出席者	参加者	37人	
	議会側	【文教厚生委員】 北林委員長、坂元副委員長、牛尾委員、岩崎委員、大道委員、谷委員、石原委員 【委員外】 乗越議長	
開催日時		令和元年11月20日（水） 18:00～19:30	
開催場所		安芸津生涯学習センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	6月・9月定例会の議案について
		概要	議会の概要説明の後、6月・9月定例会の議案の中から、次の事業説明を行った。 ・情報教育用の無線ローカルエリアネットワーク ・東広島市有害獣処理加工施設の管理を行う指定管理者の指定について ・道の駅整備事業（仮称）道の駅西条地域連携施設等設計施工一括工事について ・高機能消防指令センター整備事業について また、東広島圏域における民間企業等による管理型最終処分場建設の自粛を求める請願について、市民経済委員会での意見聴取や討議の経緯を説明した。
		質疑応答	時間を設けていない
	意見交換	ICT教育について・学校統廃合について	
		【相手方意見】 ・ICTを活用した教育をする上でパソコンやタブレットなどの環境整備を充足することは必須と考えるが現状を教えて欲しい。又、その整備状況は東京や大阪などの都市部に比べて東広島市はどのような状況か？ 予算も関係するだろうが、このような事が充足しないとこの地域で子どもたちを育てたいとはならないのではないかな。 ・昨年の市長と語る会で学校統合は住民の意思を尊重されるといわれたがどのような状態か。 【議会側意見】 ・現在のパソコンの整備率は各学校1クラス分で予算的に非常に厳しい部分がある。また都市部に比べての環境整備は考えたことが無いので今後の参考にさせて頂きたい。東広島市の学校でICT環境が充足するよう頑張る	

			いく。 ・現在志和で3小学校を統合し新校舎建設の運びとなっているが、3小学校とも地元の同意のもと計画を進めている。
		有害鳥獣対策について	
		【相手方意見】	・イノシシなどの有害鳥獣対策が進んでいないがどうなっているのか。
		【議会側意見】	・罾を仕掛けるにも免許が必要で猟友会さんをお願いをしているがあまりにも数が多いために進んでいないのが現状であり、引き続き取り組んでいく。
		管理型最終処分場建設の自粛を求める請願	
		【相手方意見】	・管理型最終処分場建設の自粛を求める請願に関心があり参加した。全文の意味を加味して頂きたかった。文章の前段と後段の違いに議論が集中していた。 ・産廃問題が気になって来た。住民に子供たちの未来に負の連鎖を断ち切りたい。ゼロエミッションの計画の中で他所から持ってくることに對して議会が意思を示して欲しかった。もっと違う形で先進的に動いてもらいたい。ゼロエミッションを知らせていくことが大事。根本的に抜本的に改革を議会でも示してほしい。 ・住民から提案された請願に對し可決された事例はあるか。 ・地域に寄り添う議会であって欲しい。請願については、生きるか死ぬかの思いで出したのに。木谷地区は雨にもろい土壤だ。アクセスも農道に1日50台も通行し、困っている。請願に對応して公聴にも行った。議会で危機感のある言葉はでなかった。県に許可権限があることは知っている。わかっているが、処分場は要らないということに採決して欲しかった。非常に残念。管理型処分場が木谷にもあるのにもうこれ以上処分場はいらない。

		【議会側意見】 ・住民の方々のお気持ちは理解しているが、決定の権限が市にはなく県にあるので請願は否決し意見書を県に要望した。 ・直近では2018年2月6日、骨髄・抹消血管細胞提供者(ドナー)となる市民への支援についての請願が受理され可決されている。
	その他	【相手方意見】 ・木谷の人ばかりが来ているのはなぜか？安芸津で行うなら色々な地域の人に来るのではないかと。これでは意味がない。他の地域の人に来ないのは市議会に関心がない証拠では。 【議会側意見】 ・安芸津町内のみならず東広島市全地域が対象であるが、今回は木谷赤崎地区に産廃処理場の件で木谷地区に興味のある方が多かった様子である。今後、市議会にもっと興味を持っていただける様、議員で協力し広報していく。
	要望・提言等	① 安芸津駅・風早駅のホームから列車への乗降の際、段差が40CM以上となっており非常に危険である。バリアフリー化を求める。 ② 安芸津駅のトイレをボランティアで清掃してもらっていたが、最近では進んでいない状況なので考えて欲しい ③ 災害復旧が進んでいないので早く進めて欲しい ④ インターネットで探して安芸津に来た。地元の人に土地を提供してもらいジャガイモやレモンを作っている。ここの自然は未来に残しておくべき財産である。産廃問題をその街の住民の立場になって考えてもらいたい。都会の若者は疲れている。ここは自然が豊かで人が暖かくて素晴らしいところであるのもっと良さを伝えて定住に繋げたい。
	その他 特記事項	請願第1号について 本会議で否決したにも関わらず何故、意見書の提出をしたのかとの問いがあった。否決したので最終処分場建設を推進していると勘違いされていたようです。